

## 三重県立子ども心身発達医療センター

三重県立子ども心身発達医療センターは、県立草の実リハビリテーションセンターと県立小児心療センターあすなる学園、県児童相談センターの難聴児支援部門が統合し、6月1日にオープンしました。併設する県立かがやき特別支援学校とともに、国立病院機構三重病院様とも連携させていただき、子どもの心と体の両面から、医療・福祉・教育が連携した、専門性の高い総合的な支援やサービスを提供してまいります。



### こどもたちの発達をサポートする新しい連携へ

国立病院機構三重病院 院長 藤澤 隆夫

2017年6月、三重病院の敷地に接して、三重県立子ども心身発達医療センターがいよいよ開院しました。この新「センター」は、児童精神科の専門施設である「あすなる学園」と小児リハビリテーションの専門施設「草の実リハビリテーションセンター」、児童相談センターの聴覚障害児支援部門が統合された新しい総合的な小児医療・福祉施設です。特別支援学校も新しく建設され、現在、

三重病院に隣接する緑が丘特別支援学校と統合されて、三重県立かがやき特別支援学校になりました。これまで

三重病院は小児医療に力をいれて、小児二次救急をはじめ、さまざまな子どもの病気の高度専門施設として、地域に奉仕してきましたが、新しい「子ども心身発達医療センター」の機能とあわせて、子どもたちの健康な発達を総合的にサポートする体制を目指せるようになりました。もちろん、経営母体(国立病院機構と三重県)が異なりますので、組織としては「ひとつの病院」ではありませんが、機能としては「ひとつの病院」として動けるように、いろいろな面で連携の努力をしています。廊下でつながること、電子カルテの相互乗り入れなどはその一部です。まだまだ、課題はあるのですが、皆様のご要望を聞きながら、よりよい小児医療をつくっていききたいと、2つの施設の職員一同がんばっております。どうかよろしくお願いたします。



### 異動のごあいさつ

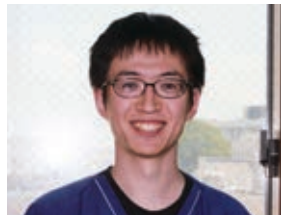
●小児科 安田 泰明先生



2016年11月から2017年6月までの短い間ではありま

したが、とても充実した8ヶ月間を過ごすことができました。三重病院は、医師、コメディカルの間の垣根の低い病院であり、また、長期の入院加療が必要な場合、学校に通いながら医療的ケアが行えることのよさを感じました。7月からは三重病院での経験を生かし、松阪中央総合病院で小児科として勤務していきます。短い間ですがお世話になりました。

●小児科 服部 共樹先生



2017年1月から6月の半年間と短い期間でしたが、三重病院で勤務させていただきま

した。こどもたち、ご家族の方たちと接することで、楽しいことも、悲しいこともあり、充実した半年でした。ここで学んだことを生かし、小児科専門医をとりたいと思います！診療に携わらせていただいた患者様、ご指導いただいたスタッフの方々に感謝します。引き続き、三重県の小児医療に貢献できるようにがんばっていきますので、よろしくお願いたします。7月からは三重大学病院に行きます！

医療安全推進担当部署  
放射線科  
前澤 稔

**CHECK**

二人の目  
ダブル  
チェックで  
事故防止

医療安全  
川柳  
7月